

(10) 小掛峡県自然環境保全地域 (昭和51年12月24日指定)

○所在：安芸高田市高宮町川根 ○面積：52.51ヘクタール

この地域は、安芸高田市高宮町の北部、江の川と田草川との合流点付近にあって、地形学上の穿入曲流の標本ともいべき峡谷を中心に、多彩な植物相に恵まれ、良好な自然環境を形成しています。

峡谷としては、わずか300メートルくらいの小規模なものです。この峡谷の特質は、見事に節理に支配され、典型的な穿入曲流を形成していることにあります。溪流には狐崖滝、石樋滝、魚切滝などと名付けられた大小の遷急点（滝）が相次ぎ、貴重な甌穴も見られます。この峡谷は極めて特異な穿入曲流の発達地であるため、植生もこの立地に応じ、それぞれ特有な植物群落が発達しています。尾根にアカマツ-ハナゴケ群落、急斜面上部にコナラ、アベマキ優勢の落葉広葉樹林、急斜面下部にアラカシ、シラカシ等を主とする常緑広葉樹林、河岸にクサナキリスゲ-ダイモンジソウ群落、コウヤミズキ群落、カワラハンノキ群落が見られます。

また、この峡谷は特に鮮苔類、地衣類が豊富です。

この峡谷には、昆虫類のセミ類、アカネ属のトンボ、蝶類などが散見され、溪流にはカワムツ、サワガニなどが確認されています。

また、広葉樹の種類が多彩であり、林帯も連続しているため、季節の小鳥類は豊富です。

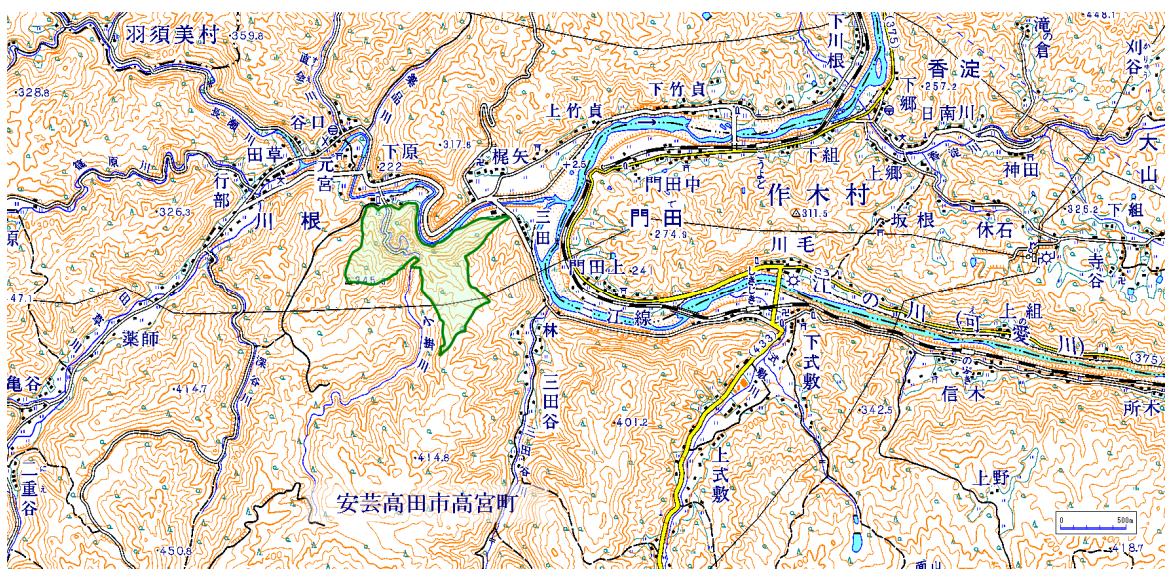
この峡谷の穿入曲流は、その形成過程がまだ学術的に判明されていないので、そのための格好の資料を提供してくれるという意味でも、学術的に貴重な自然環境です。



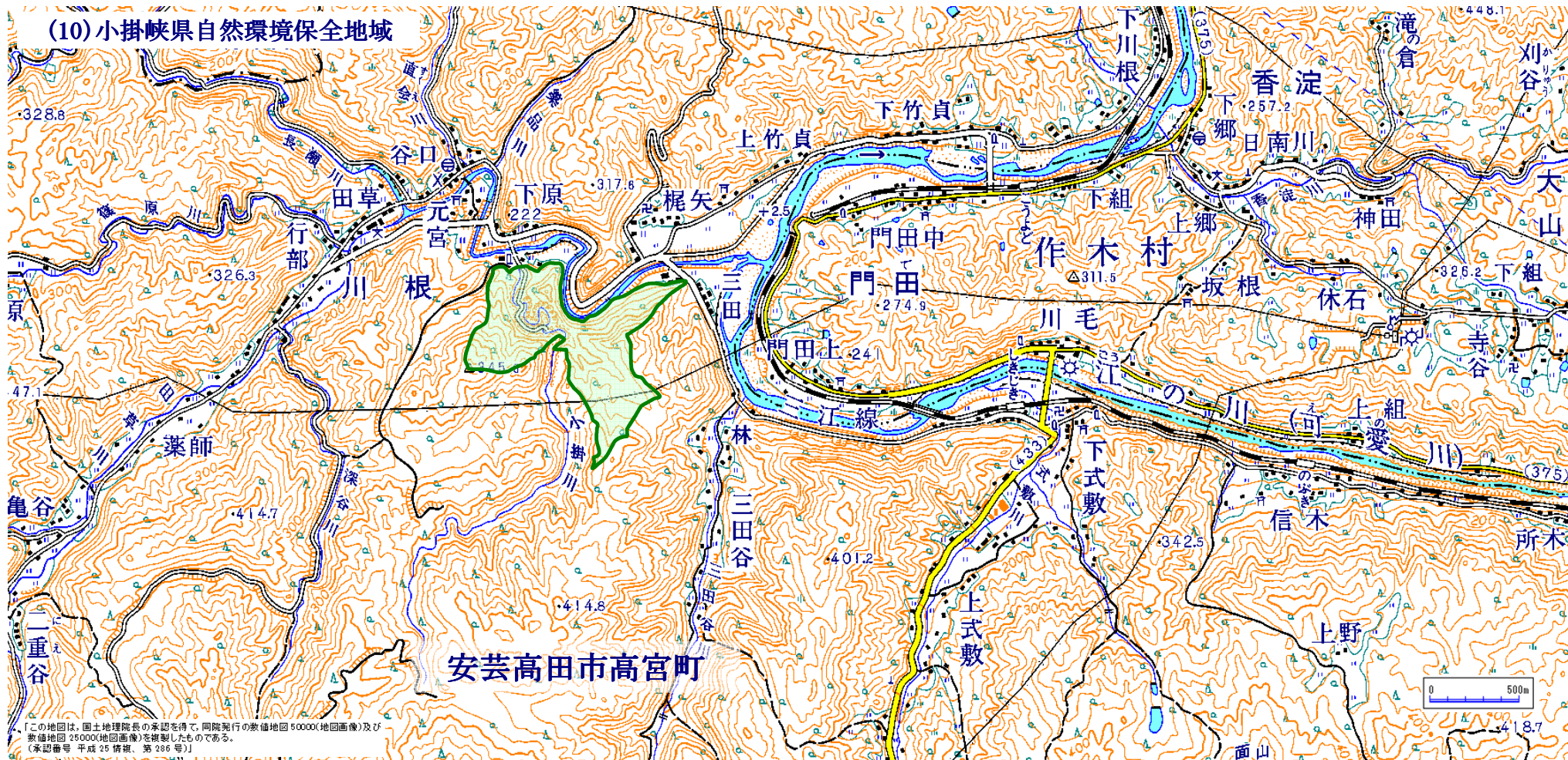
甌穴が見られる溪流



尾根と急斜面上部の植生



(10) 小掛峡県自然環境保全地域



【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平成25 情根、第286号)】